

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社坂根牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度
- 3 補助額（事業費）：15,108,000円（33,699,600円）

4 事業内容

フレッシュタイプ(モッツアレラ、ストリング、カチョカバロ)に加え、放牧牛乳を活かした熟成タイプ（日本人好みのモチモチセミハード）を製造。アニマルウェルフェア、放牧認証牧場、ブラック&ホワイトショー、ファーマーズマーケットといった毎年出店しているイベントで積極的に販売するとともに、EC分野では、食べチョクや、ポケットマルシェといった生産者と消費者が直接繋がるサービスを使って、当社チーズを牧場のストーリーとともに届ける。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量		年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (2年度)	0.04t/日	フレッシュ		1,536	3,840	(－)	1,448	(－)	
		0.4t							
目標値 (5年度)	0.3t/日	フレッシュ	セミハード	8,900	2,966	(77%)	14,742	1,018%	
		0.3t	2.7t						
実績 (5年度)	0.033t/日	フレッシュ	セミハード	346	14,417	(375%)	1,273	(88%)	
		0.018t	0.006t						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和 6 年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社アークトレード
- 2 事業実施期間：令和 2 年度
- 3 補助額（事業費）：5,814,622円（13,155,784円）

4 事業内容

新たにチーズ工房を建設（既存建物の改修）し、生産能力・能率のアップ、チーズの多様性・品質の更なる向上を図る。製造したチーズは、自らの小売販売店である「チーズマーケット」（札幌市の繁華街に立地）や既存の販路に加え、道の駅や百貨店など新たな市場を開拓し、販売額の増加を図る。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／年)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
		青かび (羊乳)	ハード (羊乳)	フレッシュ (牛乳)	青かび (牛乳)						
現況値	1. 98	180	180	0	0	1,715	4,764	－	1,440	－	
目標値 (5年度)	13. 33	400	133	2,088	766	15,990	4,178	(88%)	18,714	(1300%)	
実績 (4年度)	2. 68	78	254	460	0	2,380	3,005	(63%)	6,000	(417%)	
実績 (5年度)	4. 26	106	260	600	0	2,280	2,360	(50%)	8,800	(611%)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を大きく上回っており、年間販売額は目標を下回ったものの、10%以上の増加は達成できたことから、おおむね目標どおりの成果を達成したと評価する。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：チーズ工房1103
- 2 事業実施期間：令和2年度
- 3 補助額（事業費）：3,017,649円（6,638,829円）

4 事業内容

日高の特産品を使用した製品を作り「チーズ工房1103のチーズ」「北海道日高町の知名度アップ」「倶里夢牧場の生乳のブランド化」この3つの輪を創り上げ、良質な地場産チーズの需要拡大を目指し、地域の酪農振興にも寄与する。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量						年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (○年度)													
目標値 (5年度)	82.5kg/日	モッツアレラ	ストリング (ブレン味)	ストリング (昆布)	ストリング (味噌)	カマンベール チーズ	セミハード チーズ	5,605	2,997.33	()	10,622	()	
		156kg	374kg	374kg	84kg	466kg	416kg						
実績 (5年度)	55.9kg/日	モッツアレラ	ストリング (ブレン味)	ストリング (昆布)	ストリング (味噌)	カマンベール チーズ	セミハード (カチヨカパロ)	1,541	1,638	()	5,913	()	
		67.3kg	333.3kg	188.2kg	65.5kg	227.2kg	95.5kg						

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社宇野牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度～令和 3 年度
- 3 補助額（事業費）：43,350,000（95,370,000円）

4 事業内容

今まで、着手していなかったチーズ製造にも手がけることで、有機認証牛乳の全量加工に取り組むとともに、国内では本格的に事業化することがほとんどなかった有機認証チーズを当社事業のひとつの柱として、乳製品群の製造販売を行っていくこととした。

- ・チーズの製造に当たっては、当社牧場内に新たにチーズ工房を建設する。工房は、製造100㎡、付帯設備を入れ158.89㎡として計画している。生産量は、年27トンの製造を行う。加えて、プレート殺菌機、チーズバット等（機械設備の内容）を導入することによって、有機認証チーズの製造を行う。
- ・チーズの開発・製造に当たっては、天塩町、天塩商工会をはじめ、行政機関、支援機関から助言を受けているとともに、チーズ製造ノウハウを保有している興部町の有限会社アドナイからアドバイスを受けることとなっており、工房の建設、機械設備の整備、製法の確立の準備を進めているところである。
- ・チーズ製造にあたっては、有限会社アドナイにてチーズ製造の工房長を務めていた技術者を工場長として招聘し、チーズ製造及び生産管理を担当するとともに、当社への製造工程定着を図っていく。
- ・乳加工品についても、好調に売上を伸ばしていることから、有機認証チーズを含む乳製品群の加工品についても今までの販路を活用しつつ、当社の事業の柱として伸ばしていきたい。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量		年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 ()	0t/日					(—)		(—)	
目標値 (R5年度)	0.43トン/日	カチョカパロ	ハード系他	21,792	1,362	()	90,800	()	
		7トン	9トン						
実績 (R5年度)	0.19トン/日	ハード系		2,624	374	()	0	()	
		7トン							

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：八雲チーズ工房

2 事業実施期間：令和 2 年度

3 補助額（事業費）：985,000（2,167,000円）

4 事業内容

需要を満たすためのチーズを増産するため、使用しているボイラーの入れ替えを行う。現在のボイラーの性能(発熱量100kg/h)ではバットの製造可能容量300kgに対し210kg程度の製造が限界であり、新しいボイラー(発熱量160kg/h)に入れ替えを行うことで、1回の取り扱い乳量が現在の200kgから240kgへ拡大する。そのためチーズ生産量は年1204kgから1331kgへ増産され、販売額も年833万円から921万円へ向上する。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	年間販売額 (千円)	備考
現況値 (令和2年度)	30.4kg/日	白カビ	モッツアレラ	ストリング	セミハード	合計	3065	2.55千円/kg	8334千円	
		297kg	292kg	374kg	241kg	1204kg				
目標値 (令和5年度)	33.4kg/日	白カビ	モッツアレラ	ストリング	セミハード	合計	3292	2.47千円/kg(97%)	9,213千円(111%)	
		317kg	329kg	410kg	275kg	1331kg				
実績 (令和5年度)	47.0kg/日	白カビ	モッツアレラ	ストリング	セミハード	合計	5203	3.03千円/kg(118%)	13,032千円(156%)	
		448kg	269kg	638kg	364kg	1719kg				

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を上回っていることから、目標以上の成果を達成したと評価する。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社 竹下牧場
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：19,648,500円（42,660,000円）

4 事業内容

新たにチーズ工房を建築し、平成30年度より製造を開始する。製品は店舗・飲食店に販売をするほかに、牧場来場者への販売、牧場アクティビティに利用する。また（株）山川が管理運営するゲストハウス『USHIYADO』と連携した農泊ビジネス（農商工連携事業 通巻番号1-29-078）における宿泊者への地元農産物を利用した飲食の提供・お土産品の販売にも活用する。これらの事業を行うことにより、酪農の価値と魅力、北海道中標津のよさをアピールしていく。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (kg/日)	製造品目・ 年間製造量			年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年1月)	0				0	0	()	0	()	
目標値 (R2年度)	82	コンテ	ラクレット	パスタフィラー	7,046	2,610	()	11,880	()	
		900kg	900kg	900kg						
実績 (R2年度)	41	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,710	2,487	()	3,984	()	
		820kg	600kg	72kg						
実績 (R3年度)	35	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,087	2,563	()	5,082	()	
		540kg	600kg	64kg						
実績 (R4年度)	35	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,420	2,720	()	4,893	()	
		634 k g	515 k g	108kg						
実績 (R5年度)	41	マリボー	パスタフィラータ	リコッタ	3,826	2,555	()	6,653	()	
		798 k g	572 k g	127kg						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社あすなろファームینگ
- 2 事業実施期間：平成29年度 ～ 平成30年度
- 3 補助額（事業費）：22,717,246円（50,328,000円）
- 4 事業内容

有限会社あすなろファームینگ(以下、「当社」という。)は、十勝酪農地帯(清水町)において、土、草、牛の自然な好循環にこだわった生乳を原材料として、25年以上にわたり、牛乳、ヨーグルト、バター等を製造加工・販売してきた。チーズについては、当社ではチーズ製造施設を持たないことから、バイヤー等からの品揃えに係る要請(当社ブランドによるチーズ販売)に応える形で、他工場で製造したナチュラルチーズを仕入・販売してきた。しかしながら、今後の国際化の進展等を考慮すると、チーズについても、生産性や品質の向上を図りつつ、真に競争力のある製品を、当社で効率的に製造加工していく必要があると考えている。そのため、原料の生乳生産については、引き続き、十勝の大自然を活かしたこだわりの良質の生乳を生産するとともに、生乳生産牧場の当社で効率的に製造加工していくため、生乳生産牧場の近傍にチーズ製造加工施設を整備し、(一財)蔵王酪農センター、先進チーズ工房等の高水準の技術を導入しつつ、生産性が高く競争力のある当社ブランドの多様なナチュラルチーズを製造・販売し、消費者にこだわりの高品質チーズを提供することにより、次の事項を達成することを目的とする。

(1) 十勝の大自然の恵みを活かしたサステナブルな酪農、乳製品加工の定着 (2) 顧客、地域住民、来訪者等に対する正しい食知識の普及と国産牛乳乳製品の消費拡大 (3) チーズ製造加工施設を核とした地域の観光拠点の創設

なお、本事業を実施することにより、輸入品に対抗できる競争力のある乳製品の製造が実現するのみならず、国内チーズ工房との切磋琢磨等を通じて、国内の牛乳乳製品製造全体の合理化、効率化に寄与できるものと考えている。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量				年間製造経費	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	年間販売額 (千円)	備考
現況値 (○年度)		(例) 合計 〇〇トン					()		
目標値 (令和2年度)	0.3	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成	10,945	1,312	()	44,254
実績 (令和3年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット	長期熟成(ゴータタイプ)	2,222	2,556	()	4,445
実績 (令和4年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴータタイプ)	2,536	2,469	()	5,230
実績 (令和5年度)	0.2	フレッシュ	カチヨカバロ	ラクレット系	長期熟成(ゴータタイプ)	2,552	2,478	()	5,350

注：()には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：さらべつチーズ工房
- 2 事業実施期間：平成30年度
- 3 補助額（事業費）：29,465,000円（63,644,400円）

4 事業内容

生産能力の向及び製品の高品質化を実現するため、製造設備の集約化（離れた位置にあったチーズの製造室、熟成庫、パッケージ室を1ヶ所1棟として集約拡大し、作業内容に沿って効率的に配置）を実施した。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量				年間製造経 費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (平成30年 度)	0.36	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレラ	24,194	3,810	-	25,229	-	
		2.1	1.54	1.8	0.91						
目標値 (令和2年度)	0.5	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレラ	29,668	3,333	0.87	35,040	1.39	
		2.94	2.16	2.52	1.28						
実績 (令和3年度)	0.33	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレラ	5,770	2,046	0.5	17,383	0.69	
		1.01	0.37	0.39	1.05						
実績 (令和4年度)	0.32	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレラ	7,439	2,021	0.5	24,700	0.98	
		1.7	0.58	0.47	0.93						
実績 (令和5年度)	0.35	ハードチーズ	ブルーチーズ	ウォッシュチー ズ	モッツアレラ	8,172	2,368	0.6	29,100	1.15	
		1.55	0.51	0.25	1.14						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標を大きく上回っており、年間販売額は目標を下回ったものの、10%以上の増加は達成できたことから、おおむね目標どおりの成果を達成したと評価する。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：ニセコチーズ工房有限会社

2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度

3 補助額（事業費）：51,900,000円（132,000,000円）

4 事業内容

チーズ工房を新築。約82㎡だった工房を約306㎡へ拡大、熟成庫も約3倍に拡大し熟成管理の精度もアップさせ、生産量を年11.2トンから14.3トンへ増産した。加えて、2ℓチーズバットと大型圧搾機を導入して増産体制を強化し、チーズバットの自動攪拌機の導入と真空包装機の大型化によりローコストオペレーションを実現した。更に、ブラックアウトなどの不測の事態に対応するための自家発電装置や金属探知機の導入により危機管理体制も整備して、安心・安全な製造設備とした。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年度)	0.239	ハード① 3.4トン	ハード② 3.7トン	ブルー 1.9トン	モzzarella 0.4トン	その他ソフト 1.8トン	27,437	2,449	－	56,626	－	
目標値 (令和3年度)	0.457	ハード① 4.0トン	ハード② 7.0トン	ブルー 5.0トン	モzzarella 0.4トン	その他ソフト 3.6トン	42,750	2,138	(87.3%)	100,000	(176.6%)	
実績 (令和3年度)	0.349	ハード① 4.0トン	ハード② 5.0トン	ブルー 3.0トン	モzzarella 0.3トン	その他ソフト 2.0トン	49,174	3,521	(143.8%)	87,901	(155.2%)	
実績 (令和4年度)	0.432	ハード① 4.1	ハード② 6.2	ブルー 4.0	モzzarella 0.4	その他ソフト 3.0	52,738	2,996	(122.3%)	100,004	(176.6%)	
実績 (令和5年度)	0.325	ハード① 4.0トン	ハード② 4.5トン	ブルー 4.0トン	モzzarella 0.4トン	その他ソフト 2.0トン	54,533	3,661	(149.5%)	125,800	(222.2%)	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額は目標に達したものの、製造コストは目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：東円牧場株式会社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：65,683,500円（160,315,650円）

4 事業内容

フランス原産のノルマンディー種の乳を利用して、ノルマンディー地方の特産品である白カビチーズを生産します。そのために必要なチーズ工房建屋またチーズ製造機器(チーズバット、熟成室、冷蔵室、冷凍庫、蒸気ボイラー等)を新規に導入し、国内産本格白カビチーズとして高付加価値な製品の製造・販売を行います。同時に、白カビチーズのブランド化を推進し、国内競争力を高めて参ります。また、北海道浜中町にフランスノルマンディーのテロワールを重ね合わせることで、浜中町の新たな特産品を生み出し、地域活性化の一翼を担って参ります。

チーズ製造に関しては、タカナシ乳業株式会社より技術者に出向いただき、生産・指導を行っていただきます。また、販売方法に関してはタカナシ乳業株式会社を通して流通いたします。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経 費 (千円)	年間製造経費（千円） ／年間製造量（トン）			年間販売額 (千円)		備考
現況値 (令和元年度)	0		0	0	－		0	－	
目標値 (令和3年度)	0.197	白カビ	29,089	3,402	()	44,870	()		
		8.55トン							
実績 (令和3年度)	0.032	白カビ	23,224	22,657	()	9,620	()		
		1.025トン							
実績 (令和4年度)	0.052	白カビ	30,353	19,470	()	31,538	()		
		1.559トン							
実績 (令和5年度)	0.054	白カビ	25,856	13,138	()	30,712	()		
		1.968トン							

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社広内エゾリスの谷チーズ社
- 2 事業実施期間：平成30年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：49,932,918円（120,016,000円）

4 事業内容

広内エゾリスの谷チーズ社チーズ工房 建物及びチーズパット（600L）等チーズ製造設備

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 （トン／日）	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 （千円）	年間製造経費（千円） ／年間製造量（トン）		年間販売額 （千円）		備考
現況値 （令和1年度）	0	ラクレット 0.0トン	白カビ 0.0トン	フレッシュ 0.0トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	0	0	-	738	-	
成果目標 （令和3年度）2021	0.33	ラクレット 6.4トン	白カビ 5.9トン	フレッシュ 1.2トン	グリュイエール 0.4トン	ルプロッション 0.3トン	27,971	1,970	（	46,382	-	令和2年2月竣工
実績 （令和3年度）2021	0.4	ラクレット 1.0トン	白カビ 6.1トン	フレッシュ 1.7トン	グリュイエール 0.0トン	ルプロッション 0.0トン	13,440	1,525	（	28,329	-	
実績 （令和4年度）2022	0.49	ラクレット 1.0トン	白カビ 7.6トン	フレッシュ 1.6トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	17,713	1,693	（	38,385	-	
実績 （令和5年度）2023	0.41	ラクレット 0.9トン	白カビ 7.8トン	フレッシュ 1.9トン	グリュイエール 0.2トン	ルプロッション 0.0トン	19,804	1,830	（	45,275	-	

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コストは目標に達したものの、年間販売額は目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和6年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：有限会社NEEDS
- 2 事業実施期間：令和元年度
- 3 補助額（事業費）：5,250,000円（11,550,000円）

4 事業内容

パスタフィラータ系の新商品開発ならびに既存製品の増産、さらには業務用大口ロットへも販路を広げ、販売額の10%増を図る。
その為に、既存製造施設内にパスタフィラータ系の練り機（インバータ制御機能付き、SR70 Black Teflon処理、成型機一体型）を導入し、インバータ制御の利点を生かし、時間当たりの処理スピードのアップを図り、将来的には2台稼働での生産体制を整え、ロット当たりの生産量を増加する。
結果、大口顧客への提供も可能となり、それに伴い販売額の10%増を図る。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費（千円） /年間製造量（トン）		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (H30年度)	1.340t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	95,826	2,328	－	171,756	－	
		24,146kg	8,104kg	4,932kg	3,138kg	836kg						
目標値 (R3年度)	1.480t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	100,826	2,221	(95%)	188,940	(110%)	
		27,000kg	8,770kg	5,340kg	3,400kg	880kg						
実績 (R4年度)	1.209t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	88,658	2,058	(88%)	176,830	(103%)	
		20,312kg	8,372kg	10,257kg	2,845kg	1,285kg						
実績 (R5年度)	1.232t/日	パスタフィラータ	ソフト	セミハード	ハード	クリーム	106,172	2,295	(99%)	197,940	(115%)	
		21,050kg	8,819kg	11,755kg	2,992kg	1,643kg						

注：（ ）には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

年間販売額が目標を上回っていることから、目標以上の成果を達成したと評価する。

別記様式第 5 号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：きまぐれ牧場
- 2 事業実施期間：令和 2 年度
- 3 補助額（事業費）：3,967,387円（8,728,254円）

4 事業内容

上砂川町の特産品の一つとしてふるさと納税にも組み込まれたウォッシュチーズを製造。またそのうちの1つは隣町新十津川町の日本酒を使うことで、近隣の町浦臼町と3町コラボのふるさと納税も開始。工房の横にパン工房兼直売所を設置し、ホエイを使用したパンのほか、ウォッシュチーズ、モッツアレラ、酸凝固、ストリングチーズ、フロマージュブランなどを販売。オンラインショップでも販売している。他会社のECサイトでチーズの販売も行う他、レストランなどで使用されたりもする。メディアへ出演し、広報活動も行うほか、SNSを活用し、お客さんに作り手の顔や製造の様子を伝えている。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・年間製造量			年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)		年間販売額 (千円)		備考
現況値 (○年度)		(例) 白カビ					()		()	
		〇〇トン								
目標値 (22年度)	0.04166	クリームチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3850	3,850	()	6,000	()	
		0.2	0.4	0.4						
実績 (22年度)	0.0129	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	3563	11,457	()	4,678	()	
		0.2728	0.0032	0.035						
実績 (23年度)	0.01551	ウォッシュチーズ	酸凝固	モッツアレラ	4634	13,958	()	5,866	()	
		0.256	0.026	0.05						

注：() には対現況値比を記入すること

6 農政局長等の総合所見

製造コスト、年間販売額ともに目標を達成できなかったことから、目標未達と評価する。なお、令和 6 年度に報告のあった改善計画に基づく取組を実施し、翌年度に再度、評価を行うこと。